



# 物語を中心とする古典文学の研究 及び文芸資料から見た地域文化研究

人間文化学 部国際文化学科  
教授 西本寮子（にしもとりょうこ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1914号室  
Tel 082-251-5178 (代表) Fax 082-251-9969 (研究室)  
E-mail nisimoto@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 日本古典文学・物語文学

キーワード： 中世王朝物語・とりかえばや・源氏物語  
地域文化・古典享受

## ● 現在の研究について

研究の柱は二つあります。

ひとつは『源氏物語』などの物語文学を中心とする古典文学、とくに中世王朝物語についての研究、もうひとつは地域文化研究です。

## ○中世王朝物語の研究

- 中世王朝物語とは、院政期以降、広く中世につくられた王朝風の物語の総称です。その代表的な物語の一つに、平家の人々が活躍した時代に成立した『とりかえばや物語』があります。現代に通じる「異性装」というテーマを抱え込んでいます。なぜこのような物語が作られたのか、なぜ江戸時代に繰り返し写されたのか、近代以後評価が低かったのはなぜかなど、成立論、諸本論的アプローチによって研究を続けてきました。『源氏物語』との関係の解明もテーマの一つです。

文学作品や文化の研究を通じて、時代や社会をみつめ、歴史が語りかけてくる課題から「時代」と人々の「文化的営み」に迫りたいと考えてきました。

- 中世王朝物語の多くは、『源氏物語』の享受と密接な関係を持っています。物語文学史の展開の中で、『源氏物語』がどのように享受されたかを明らかにしたいと考えています。ここ数年は、藤原頼通の時代に焦点を当てて研究を進めてきました。

## ○地域文化研究

人の営みを見つめる作業は作品研究に限ったことではありません。広島という地域の文化的土壌の形成と展開には、人や書物を介して都から地方へ、地域へと伝わった事象を受け止める力が早くから育っていたことと無縁ではありません。この「文化を受け止める力」に注目し、戦国から江戸時代にかけての地域の文化的営みを、資料の掘り起こしと整理によって明らかにしたいと考えています。

## ● 今後進めていきたい研究について

- 『源氏物語』など古典文学作品の享受や、書物を媒介とした文化の伝搬について、さらに研究を深めたいと考えています。特に、文芸への造詣が深かったことが知られる毛利家、吉川家周辺に伝わった資料の再評価をすすめる予定です。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

古典籍や和本（和綴じの書物）の伝存状況の調査を行い、資料の整理や目録作成などのお手伝いをしながら、当該地域の文化活動の実態の解明を試みたいと思います。

## ● これまでの連携実績

大学主催の公開講座のほか、広島県内の自治体や図書館、美術館、博物館、公民館等の古典文学講座や文化講座、講演会などで講師等を務めました。講座等の講師は可能な限りお引き受けするようにしています。

「城下町広島の歴史講座十講」（二葉の里歴史の散歩道ブラッシュアップ研究協議会主催）の企画立案に9年間協力しました。